放課後オンラインプログラム「MONO-COTO PROGRAM探究部」

株式会社CURIO SCHOOL、田園調布学園中等部・高等部、富士見中学校・高等学校、茨城県立土浦第二高等学校、他

令和７年4月～9月に、中学校・高等学校12校の計33名の生徒を対象に、オンラインの探究プログラムを通じたライフデザイン支援を実施した。参加者は探究活動を通じて自身の興味・関心を深めながら、半年後に活動の成果を企業や専門家へ発表した。本プログラムを通して、参加者は「自分の興味を将来どう活かすか」を考える機会を得るとともに、社会で活躍するロールモデルとの対話を通じて職業理解を深め、自らの将来像や将来計画（ライフプラン）を具体的に描く力を育むことができた。

本事例のポイント

- **生徒一人ひとりが自身の関心を深め、自己理解や将来像等を考える探究活動を通じたライフデザイン支援を提供する。**
- **大学生メンターや企業・専門家との交流・発表を通じて、多様な生き方や働き方に触れ、具体的な将来像等を描く契機となる。**
- **フィードバックを受けながら自分の価値観や得意を再認識し、「自分らしい生き方」を主体的に考える姿勢を育む。**

対象者

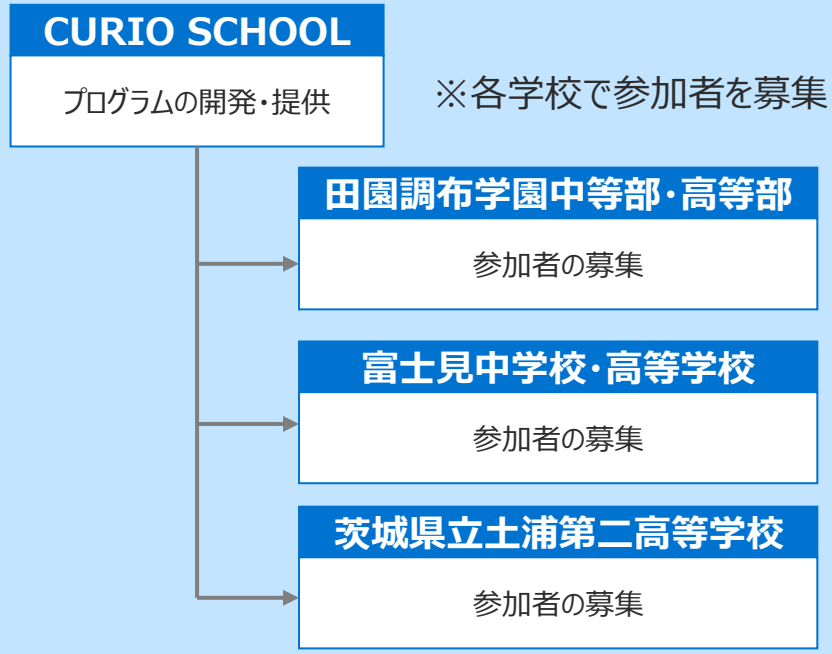
10代：中学生・高校生

- 東京都・神奈川県・茨城県・秋田県および台湾の中学生・高校生。
- 学校の教員経由で生徒へ広報し、募集した。

提供形態

ワークショップ　**その他：個人メンタリング**

実施体制



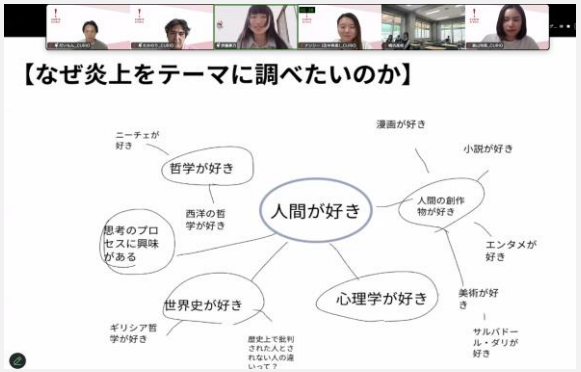
放課後オンラインプログラム「MONO-COTO PROGRAM探究部」

株式会社CURIO SCHOOL、田園調布学園中等部・高等部、富士見中学校・高等学校、茨城県立土浦第二高等学校、他

具体的な取組

⑴探究課題を決める

- メンターとの対話を通して、自分の興味・関心を整理し、「炎上から見る日本史」や「高校野球の坊主文化」など探究テーマを設定した。関心を広げながら自己理解を深め、探究の方向性を明確にした。
- 生徒一人ひとりの興味・関心に基づいた探究課題を設定し、自己理解を促すきっかけとなった。



⑵探究活動を進める

- 週1回のメンタリングを受けながら、問いを立て、調査・検証を行う探究サイクルを実践した。探究活動を通して、自らの興味が社会や将来の進路にどのようにつながるかを検討した。
- 探究的な学びを通して、自身の将来像を主体的に描く姿勢が育ち、進路や職業選択への意識が高まった。



⑶成果をまとめ、振り返る

- 探究の成果を整理し、企業や専門家に向けてプレゼンテーションを実施した。社会で活躍するロールモデルとの対話通じて、学びを自分の将来像やライフプランへと結びつけて考えた。
- 社会人からのフィードバックを受けたことで、自分の関心を社会や職業と結びつけて考えられるようになった。



放課後オンラインプログラム「MONO-COTO PROGRAM探究部」

株式会社CURIO SCHOOL、田園調布学園中等部・高等部、富士見中学校・高等学校、茨城県立土浦第二高等学校、他

ライフデザイン支援を通じて提供した知識・情報一覧

ライフ	ライフイベント	生き方の多様性
	ライフスタイル・暮らし方	
	私生活の充実	
	ウェルビーイングの向上	
キャリア	働き方の多様性	
ファイナンス		
スキル	自己認知、自己理解、自己肯定、自己決定力、自己効力感	デジタルツール活用スキル、プロジェクト管理スキル
	レジリエンス、課題解決力、情報収集能力、向上心・探求心、ホープ（未来志向で今を考える力）	自律した自身のライフに対する総合的なプランニング・デザインスキル
	アンガーマネジメント、モチベーションマネジメント、継続力・持続力	
	協調性・関係構築力、他者受容性、コミュニケーションスキル	